学校番号	３００１

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ａ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「最新　数学Ａ」　（数研出版）						
副教材等	パラレルノート　数学Ａ　（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では課題に対してまず自ら考え、次に周りと協力して考えていく活動をします。
・授業中はノートをしっかりとり、難しい問題にも前向き・積極的に取り組むことを期待します。
・問題集はノートに途中の式や考え方もしっかり記述してください。定期考査ごとに点検します。

2　学習の到達目標

場合の数と確率、図形の性質について理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，数学と人間の活動について認識を深め，事象を数学的に考察する能力を培い，数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	場合の数と確率、図形の性質についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と人間の活動について認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力，日常の事象や社会の事象を数学化し，問題を解決したり，解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1章　場合の数と確率	第1節　場合の数 ・集合 ・集合の要素の個数 ・樹形図、和の法則、積の法則 ・円順列と重複順列 ・組み合わせ	b.集合、部分集合、全体集合、補集合について理解し、集合で表すことができる。 a.集合を要素の個数を、集合の性質から求めることができる。 a.樹形図、和の法則、積の法則が成り立つことを理解し、それらを用いて場合の数を求めることができる。 b.順列の総数 nPr について理解している。 a.順列を利用し、場合の数を求めることができる b. 順列から円順列、重複順列について考察し公式を導き出すことができ、それらを利用できる。 b. 順列の考え方を用いて、組み合わせについて考察する。 a.組み合わせの考え方を用いて、場合の数を求めることができる。 c意欲的に場合の数の問題に取り組むことができ、自身の課題について把握し学習を進めることができる。	定期考査 ノート	定期考査 問題集	配信課題 学習予定表 授業態度
	第2章　確率	・確率の意味 ・確率の計算 ・確率の基本性質 ・和事象の確率 ・余事象の確率 ・独立な思考の確率 ・反復志向の確率 ・条件付確率 ・期待値	c. 事象から確率の意味を意欲的に考察し、説明することができる。 a. 事象の確率を理解し、確率を計算することができる。 a. 積事象と和事象、事象の排反、空事象などの確率の基本性質を理解し、和事象の確率、余事象の確率を求めることができる。 b. 独立な試行、反復試行について理解し、その確率の求め方を理解し、それを求めることができる。 b. 条件つき確率について考察し、どのように求めるかを考えることができる。 c. 期待値とは何かを考え、どのようなものであるかを説明することができる。 a. 期待値を計算することができる。	定期考査 ノート	定期考査 問題集	配信課題 学習予定表 授業態度

2学期	第2章 図形の性質	第1節　三角形の性質 ・角の二等分線と比 ・三角形の外心、内心、重心 ・チェバの定理、メネラウスの定理	a 平行線の性質を使って図形の辺の長さを求めることができる。 b 線分の内分、外分について、理解できる。 b 三角形の内角と外角の二等分線の性質を導き出すことができる。 a 三角形の内角の二等分線、外角の二等分線の性質を利用し、辺の長さを求めることができる。 b 三角形の外心、内心、重心の作図方法を知り、それらの性質について考察する。 a 三角形の内心、外心、重心の性質を利用して、長さや角度を求めることができる。 b チェバの定理の成り立ちについて考察する。 a チェバの定理を利用して長さを求めることができる。 b メネラウスの定理の成り立ちについて考察する。 a メネラウスの定理を利用して長さを求めることができる。 c意欲的に三角形の性質の学習に取り組むことができ、自身の課題について把握しながら学習を進めることができる。	定期考査 ノート	定期考査 問題集	配信課題 学習予定表 授業態度

		第２節　円の性質 ・円周角の定理 ・円に内接する四角形 ・円と接線 ・接線と弦の作る角 ・方べきの定理 ・2つの円 第4節　空間図形 ・空間における直線と平面 ・多面体	a 円周角の定理を利用して、角度を求めることができる ｂ円に内接する四角形の性質とその逆について考察する。 a　円に内接する四角形の性質を利用することができる。 a 円の接線の長さの性質を利用し、長さを求めることができる。 b　接線と弦の作る角の性質を導き出し、それを利用できる。 a 方べきの定理を利用し、長さを求めることができる。 b　２つの円の位置関係について考察し、性質を導き出せる。 c意欲的に円の性質の学習に取り組むことができ、自身の課題について把握しながら学習を進めることができる。 b空間図形における直線や平面に着目し、2 直線の位置関係、2 直線のなす角、直線と平面の位置関係、2 平面の位置関係、なす角について考察する。 A 多面体、正多面体、オイラーの多面体定理について学び、多面体の頂点、辺、面の個数、多面体の体積を求めることができる。	定期考査 ノート	定期考査 問題集	配信課題 学習予定表 授業態度
３学期	第３章　数学と人間の活動	約数と倍数 ・約数と倍数 ・素数と素因数分解 ・整数の割り算 記数法 ・古代の記数法 ・現代の記数法	a 約数と倍数について学習し，それを利用できる。 a 素数について学び、素因数分解ができる。 ｂ整数の割り算について学習し、割り算の商と余りの考え方を利用することができる。 ｂ古代の記数法について考察し、表現することができる。 a 現代の記数法について、10 進法から学習し、2 進法、3 進法…ｎ進法で表現することができる。 ｃ意欲的に数学と人間の活動の学習に取り組むことができ、自身の課題について把握しながら学習を進めることができる。	定期考査 ノート	定期考査 問題集	配信課題 学習予定表 授業態度

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度